

軽快なステップで楽しくフォークダンス

～女性リーダー研修会が開催されました～

12月11日徳島市のあわぎんホールにおいて、本年度の「女性リーダー研修会」が開催され、県内の女性リーダー92名にご参加いただきました。

女性リーダー研修会は、県老連が女性リーダーの資質向上を目的として毎年開催しているもので、前半は各種テーマに基づく講義、後半を実技を中心とした構成で行っています。特に後半の実技については、5月に行われる女性委員会でその内容を検討、本年度は出された案の中から「フォークダンス」を採用することになりました。



研修会はまず、宇山女性委員長の挨拶で始まり、続いて前半の講義に移りました。本年度は、全国老人クラブ連合会女性委員会が、平成23年度に行ったアンケート調査活動「生活モニター」（テーマ：暮らしの支え合い）の結果を元に、県長寿保険課の大屋課長補佐に「広げよう！暮らしの支え合い」と題してお話いただきました。



高齢化の進展等による高齢者世帯の孤立化が進み、また加齢に伴う身体機能の低下や地域のつながりの希薄化などで、自立した生活が困難な状況になっている。こうしたなか老人クラブの友愛訪問活動などを通じて、地域における支え合いの関係を構築することは重要であり、特にきめ細やかなお手伝いが可能な女性会員の果たす役割は大きいと説明されました。

後半の講師には、徳島県フォークダンス連盟（会長：濱田淳子）より推薦のあった、日本フォークダンス連盟公認指導者で、鳴門スクエアダンスクラブ代表の村澤博氏をお迎えしました。このたびはアメリカのフォークダンスである「スクエアダンス」の基本的なものの「バージニアリール」と「コントラダンス」、運動会などでもお馴染みの「マイムマイム」をお教えいただきました。いずれもダンスの動作自体は簡単で覚えやすく、軽やかな曲調もあって、踊っていると笑顔になるようなものでした。若干テンポが速く、高齢の方やひざの悪い方にとっては、なかなか難しいものでありましたが、おおむねみなさん楽しまれているようでした。



